

いわた羅針盤

ら しん ばん

2024年
9月号
9/1発行
No.97
令和6年6月定例会



特集

議場で学ぶ、議場で感じる
～小学6年生が議場見学と模擬議会を体験～

CONTENTS

- P2 特集 議場で学ぶ、議場で感じる
- P4 6月定例会議案審議
- P8 委員会審査
- P9 一般質問（10人）
- P15 トピックス
- P16 審議結果ほか



児童から質問

Q 傍聴席と議員席の間に扉があるのはなぜ？

A 議場の中は、議事進行を行う重要なところです。傍聴のところから人が入ったり、迷惑行為をされたりしないように対策しています。

Q 議員の仕事をしていて大変だったことは？

A 国語力が必要で、いろいろなものを文章にまとめることが大変です。国語の勉強をしないといけないと思います。

Q 当選されたら、すぐに通知がくるの？

A 次の日に、市役所で選挙管理委員会の方から当選証書が渡されます。



議員から質問

Q 磐田市の自慢は？

A ・自然が豊かなところ
・サッカーが盛んなところ
・茶がおいしいところ ・野菜がたくさん採れるところ

Q 磐田市に必要なものは？

A ・高学年の子でも遊べる場所、遊び場がほしい
・公園に遊具をもっと増やしてほしい
・少子高齢化の解決を進め、住みやすいまちにほしい
・学校の登下校バスがほしい
・犬と遊べるようなところがほしい
・観光スポットがほしい
・コンクリートの隙間に草が生えてこないように道路整備してほしい

今回の議場見学は、子どもたちにとって貴重な学びの機会となり、市議会に興味をもつきっかけになったと思います。質問の時間には、子どもたちが積極的に自分の意見を発表する姿を見ることができ、とても嬉しく思いました。

今後も、この取組を通じて、市議会の重要性を感じてもらいたいです。

特集

議場で学ぶ、議場で感じる
～小学6年生が議場見学と模擬議会を体験～



その後、クラスごとに分かれて質問の時間となりました。



子どもたちは議員になりきって質疑や討論を行い、議案の可否について採決を行いました。



7月17日 豊岡南小学校6年生が、議会のしくみの説明や議場での模擬議会を体験しました。

市議会に対する理解と関心を高める取組を進める中、子どもたちに議会に関心を持ってもらうため、小学生から中学生までを対象に議場見学を始めました。

6月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。質疑や討論は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像をご覧ください。

磐田市議会 配信 検索



議案審議

令和6年
6月
定例会

会期 6月14日～7月11日 (28日間)

一般会計補正予算(第4号)などを審議

6月定例会では、市長提出の6年度一般会計補正予算などの一般議案16件、人事議案2件、請願1件、議員発議の意見書2件を審議しました。

なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

議案
第51号

6年度一般会計補正予算(第4号)

全会一致で
可決

この補正予算は、歳入歳出予算の追加であり、歳入歳出予算それぞれに3億1363万円を追加し、総額を762億3563万1千円とするものです。

補正予算の主な内容

- 戸籍システムの標準化に係る環境設定に要する経費の増額
- 国の補助制度を活用した、デマンド型乗合タクシーにおけるウェア予約フォームの導入等に要する経費の増額
- 新型コロナウイルススワクチンの接種に要する経費の増額

本会議での主な質疑

- 問** 戸籍システム関連作業委託料の内容とメリットは。
- 答** 委託内容は、戸籍及び戸籍の附票システムの標準化に伴い、両システムを庁舎内管理からガバメントクラウドに移行するために必要なネットワーク機器の設定及び動作確認を行うものである。メリットは、地方公共団体の人的・財政的負担の軽減が図られることである。
- 問** デマンド型乗合タクシーの予約フォーム作成業務委託料の内容は。

- 答** 氏名、電話番号、利用日、利用時間帯、乗車地及び目的地等を入力するための予約フォーム作成等に要する経費で、磐田中央線と豊田線の2路線分を見込んでいます。
- 問** デマンド型乗合タクシーの予約フォーム導入のスケジュール、高齢者への配慮、効果と検証方法は。
- 答** 予約フォームの運用開始は12月頃を予定している。高齢者への対応は、スマホ教室等で利用方法の周知を行うが、電話予約との併用で運用していく。効果は、受付時間が24時間対応となるため、利便性が向上すると考えている。また、利用者数や年齢層等の傾向を把握・分析し、利用者や運行委託事業者から意見聴取を行い、効果の検証を行っていく。

- 問** 新型コロナウイルススワクチンの接種に要する経費の増額の理由と、予防接種の対象者、接種費用等は。
- 答** 新型コロナウイルススワクチンの接種は、定期接種へ移行したことに伴う激変緩和措置として、接種1回あたり8300円を助成するもの。対象者は、65歳以上の方及び60歳から64歳までの一定の要件を満たす方で、接種費用については、現時点での自己負担額は3200円程度を考えている。
- 問** 地方就職学生支援金の内容と周知方法は。
- 答** 東京都内に本部がある大学の東京圏内キャンパスに在学し、卒業後に本市へ移住し静岡県内に勤務する予定の大学生が、就職活動へ参加するために必要な交通費を支援する。往復交通費の2分の1以内で5940円を上限に支給するもの。国がホームページで周知するほか対象の大学へポスターを配布するとともに、本市のホームページ等へ掲載し、就職フェアに参加する学生に周知していく。

議案
第54号

協働のまちづくり推進条例の一部改正

全会一致で
可決

市民一人ひとりが主体的にまちづくりに取り組む気運を醸成することや、地域の特色を生かした市民自治によるまちづくりを推進するために、条例の一部を改正するものです。

条例の主な内容

- 条例名、前文及び基本理念等を改め、新たに、市の責務、地域づくり協議会及び自治会の役割等について追加するものです。

本会議での主な質疑

- 問** 「みんなが主役のまちづくり条例」に名称を変更している理由と、検討経過は。
- 答** 5年度から6年度にかけて開催した磐田まちづくりワークショップの参加者から、堅苦しくないほうがよい、市民に関心を持ってもらえるものにしたなどの意見があったことから、ワークショップで検討を重ねて名称の候補を絞り、それを(仮称)磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会に提案をして、委員会で最終候補を決定した。

- 問** 現状において、まちづくりの住民意識の高まりを、どのように認識しているか。

- 答** 条例策定検討委員会や、小規模多機能自治シンポジウム、ワークショップなどに、多くの市民の方に関わっていただいた。条例案の説明会には60人が参加し、パブリックコメントには11件の意見が寄せられた。また、4年度から、5つの地域づくり協議会が中学生以上全住民アンケートを実施し、回答率が90%を超える地区もあるなど、少しずつではあるが、まちづくりに対する住民意識の高まりを感じている。
- 問** 条例改正により、まちづくりにどうつながっていくのか。

- 答** 市民が参加できるワークショップや市民ファシリテーター養成講座の開催などを通じて、条例の理念や市民自治の考え方を伝え、市民一人ひとりがまちづくりに関心を持ち、参加してもらえるよう機運の醸成を図っていききたい。

議案
第60号

財産の取得

全会一致で
可決

消防ポンプ自動車1台を取得するため、制限付一般競争入札をした結果、株式会社日本防火研究所が落札し、税込み2563万円で購入するものです。

概要

- 市消防団見付方面隊第1分団に配備する消防ポンプ自動車を更新するものです。団員の負担を軽減するため、オートマチックトランスミッションを採用し、安全機能の標準装備等により操作性及び安全性が向上します。
- 納期は、7年2月28日を予定しています。

本会議での主な質疑

- 問** 第1回の入札で事業者が決定しなかった理由は。
- 答** 全ての入札価格が予定価格を上回ったため、入札事業者の決定に至らなかった。
- 問** 予定価格は。
- 答** 入札資格のある事業者3者に参考見積書の提出を依頼し、最低価格である税込み2584万4720円を予定価格とした。
- 問** 物価高騰による価格への影響は。
- 答** これまでの車両と基本的な仕様に変更はないが、前回、2年度に更新した車両と比較すると、契約金額で572万円の増額となる。
- 問** 納期までの工程は。
- 答** 10月頃に製造会社からシャーシが艤装会社に納入され、消防ポンプや赤色灯等を艤装し、12月頃の間検査を経て7年2月末頃に納車される見込みである。



6年度向陽学府小中一体校建設工事 (空気調和設備) 請負契約の締結

全会一致で
可決

6年6月20日に制限付一般競争入札を行った結果、株式会社エクノスワタナへ西部営業所と税込み5億5770万円で工事請負契約を締結するものです。

概要

- 建築請負契約、電気設備請負契約の工事内容に、空気調和設備を追加するものです。
- 工期は、8年1月30日までを予定しています。



問 空気調和設備の予定価格及び工事内容は。

答 予定価格は、税抜き5億3462万円になる。普通教室並びに特別教室等に新設するエアコンに加え、既存の校舎で使用しているエアコンを移設する。また、屋内体育施設については、今回の工事に含まれていない。

問 本契約業者の実績は。

答 本市では、市立総合病院の実績がある。

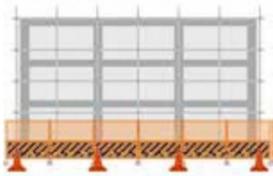
問 工事内容に放課後児童クラブも入っているのか。

答 放課後児童クラブについては、8年度の工事を予定している。

本会議での主な質疑

問 再入札となった経緯と全体工事への影響は。

答 仮契約者が指名停止となり再入札となったため、追加議案に至った。予定どおり進めるので、特段工事への影響はない。



「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」を国に提出

全会一致で
可決

市議会は、冤罪被害者を早期に救済するため、国に意見書を提出しました。(意見書提出先) 内閣総理大臣ほか2大臣、衆・参議院議長

刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書

冤罪は、国家による最大の人権侵害の一つである。冤罪被害者の人権救済は、人権国家を標榜する我が国にとってはもろろんのこと、地域住民の人権を守る義務を有する地方自治体にとっても重要な課題である。

しかし、冤罪被害者を救済するための再審手続に関する法律(刑事訴訟法第四編「再審」)上の規定は、僅か19か条しかなく、再審手続をどのように行うかは、裁判所の広範な裁量に委ねられていることから、再審請求手続の審理の適正さが制度的に担保されず、公平性も損なわれている。

また、過去の多くの冤罪事件では、警察や検察庁といった捜査機関の手元にある証拠が再審段階で明らかになり、冤罪被害者を救済するための大きな原動力となっているが、現状では捜査機関の手元にある証拠を開示させる仕組みについて、現行法に明文化された規定がなく、再審請求手続において証拠開示がなされる制度的保障はない。そのため、裁判官や検察官の対応いかに、証拠開示の範囲に大きな差が生じているのが実情であり、これを是正するためには、証拠開示のルールを定めた法律の制定が不可欠である。

(中略)

よって国においては、冤罪被害者を早期に救済するため、次の事項について、刑事訴訟法の再審規定(再審法)を速やかに改正するよう求める。

記

- 1 再審請求手続の審理の適正化に資する規定を整備すること。
 - 2 再審請求手続において、全ての証拠を開示する規定を整備すること。
 - 3 再審開始決定に対する検察官の不服申立てを禁止すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

6年度一般会計補正予算(第6号)

全会一致で
可決

この補正予算は、歳入歳出予算の追加及び地方債の追加であり、補正予算第5号の補正後の額に、歳入歳出それぞれ3540万円を追加し、総額を765億195万1千円とするものです。

補正予算の主な内容

● 6年6月28日に発生した豪雨による被害に対する、緊急的な支出に対応するための経費の増額

本会議での主な質疑

問 神田線では、橋脚部分が崩落し、橋を撤去するところがあるが、橋の架け替えは。

答 橋脚が崩落しており、二次被害が懸念されるので、撤去をする。その後、橋の架け替えに関しては、地元の声を聞きながら、森林整備の中で検討する。

問 タチバナ線路面修繕とあるが、どの程度の路面修繕をするのか。

答 タチバナ線については、500メートルほどの路面修繕をする。

問 ウタリは林道の考えは。

答 ウタリは林道ではなく市道となるので、今回は林道で被災している部分についての復旧を進める。



問 被災者生活再建支援金支給事業の半壊の基準と、床下浸水に伴う支援金の考えは。

答 床上に水が達し、浸水50センチメートル未満が半壊の基準となる。また、支援金は、現制度の範囲内で支給をしていきたいと考えている。

問 工期期間の農業や林業への生活への影響は。

答 被災された方と連絡調整をとり、作物への影響など聞き取りを丁寧に行わせていただき、工事を進めていきたいと考えている。

パレスチナでの即時停戦を求める意見書の採択についての請願

全会一致で
採択

「パレスチナでの即時停戦を求める意見書の採択についての請願」については、全会一致により採択となり、意見書を提出することとなりました。

パレスチナでの即時停戦を求める意見書の採択についての請願

請願者 磐田市平和委員会

代表 神田一男さん

外12団体

請願の趣旨

5年10月以降、激化しているイスラエル軍によるパレスチナ侵襲において、無実の市民を無差別に殺害するジェノサイドを、国際社会は容認すべきでない。日本政府においてもイスラエルに対し恒久的即時停戦を求めるよう、市議会に意見書の提出を求めるもの。

賛成 日本のイニシアチブを期待

日本は、欧米と一線を画す独自の外交を展開してきた実績があり、国内外から停戦に向けた日本のイニシアチブを期待する声も少なくない。政府が即時停戦のために最大限の努力を払うよう強く求める。日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

賛成 市民の声を国に

イスラエルとハマスの双方に即時停戦を求め、国際秩序を守ることで永続的な国際平和を実現したい、市民の声を国に届けてほしいという強い思いが感じられた。本請願の採択に賛成する。

公明党磐田 江塚学 議員

「パレスチナ自治区ガザ地区での即時停戦を求める意見書を国に提出」

全会一致で
可決

市議会は、人道・人権の危機的状況にあるパレスチナ自治区ガザ地区の即時停戦、及び国際法が遵守される国際社会の実現のため、国に意見書を提出しました。
(意見書提出先) 内閣総理大臣・内閣官房長官・外務大臣

パレスチナ自治区ガザ地区での即時停戦を求める意見書

パレスチナ自治区ガザ地区では、昨年10月のハマスによるイスラエルへの攻撃及び人質事件から半年以上たった現在も、イスラエルの報復が継続し、一般市民や子どもたちに甚大な犠牲が生じている凄惨な状況が日々拡大している。

多くの避難民は、身を寄せているガザ地区南部ラファでのイスラエル軍による軍事作戦の影響で、再び別の場所への避難を余儀なくされるなど、人道状況も深刻化している。

こうした中、国連総会での「人道目的の即時停戦」を求める決議や、国連安全保障理事会での「即時停戦」を求める決議を通じて人道的な停戦が呼びかけられ、また、国際司法裁判所からもイスラエルに対し、パレスチナ人への集団殺害を防止するための暫定措置を命じる決定が出されているにもかかわらず紛争は続いており、犠牲者が増え続けている。

イスラエルとハマスの間では、停戦と人質解放に向けた提案が示されているが、現時点で双方の合意には至っておらず、今後の進展は、依然として予断を許さない状況にある。

よって、国においては、人道・人権の危機的状況にあるパレスチナ自治区ガザ地区の即時停戦、及び国際法が遵守される国際社会の実現のために、積極的な平和外交を行うよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

市政を問う

一般質問

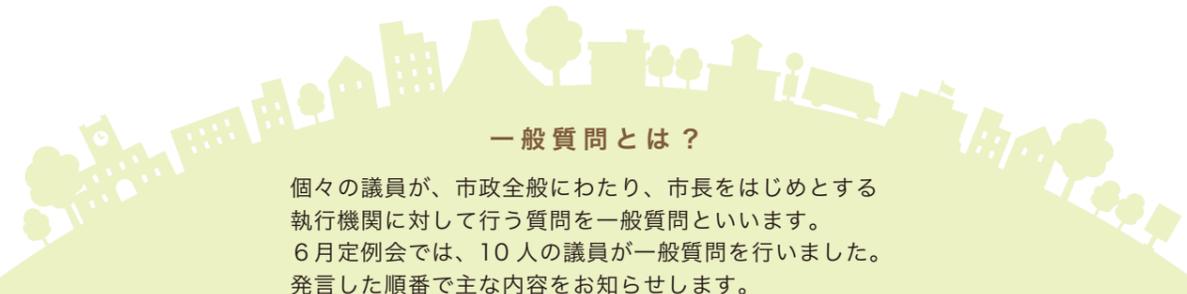
要旨

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。6月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像をご覧ください。

磐田市議会 配信 検索



委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。その内容の一部をお知らせします。

総務委員会	■委員長：小柳貴臣 ■副委員長：江塚 学	■委員：平田直巳、秋山勝則、小栗宏之、芥川栄人 松野正比呂、高梨俊弘
--------------	-------------------------	---------------------------------------

パレスチナでの即時停戦を求める意見書の採択についての
請願

請願の内容

●イスラエル軍によるパレスチナ侵攻において、無実の市民の無差別殺害を止めさせるため、恒久的即時停戦を求めるよう、政府に意見書を提出することを求めるもの。

請願者との質疑応答

問 意見書(案)の中では、イスラエルにのみ国際法違反行為の中止を求めているが、ハマスには求めないのか。
答 停戦は両者が合意しないと実現しないので、停戦を求めるのは双方になると認識している。

問 意見書(案)は「即時停戦を求める」という表題だが、停戦だけでなく、復興などを入れる必要性は。
答 即時停戦、恒久的停戦から復興、更に差別や偏見のない社会の実現まで、願いとしては続くが、まずは、今の悲惨な状況を何があっても止めてほしい。

協働のまちづくり推進条例の一部改正

問 この条例改正にあたっての目標は。
答 前文に掲げた、「自らのまちは自らの手で」という意識や、「多様性を受け入れた持続可能な地域社会の実現」は、普遍的な理念だと考えており、今後、社会が変化しても、この理念は変わらず持ち続けていきたい。

問 「人材の確保と育成」を追加した意図は。
答 人材は、非常に重要であり、持続可能な地域づくりに取り組んでいけるよう、あえて記載した。市民ファシリテーター養成講座等を開催しながら、人材の確保と育成を実現していきたい。

問 みんなが主役のまちづくり委員会の役割は。
答 市民自治のまちづくりの浸透状況や、地域の人材確保の状況などを審議すること、市長に意見を述べることであり、

難病のある方への支援

問 難病のある方への支援は。
答 2か所の障がい者等相談支援センターで、福祉サービスに関する情報提供や利用相談などの専門機関への紹介や連絡調整を行うとともに、障がい者就労相談窓口では、障がい者に限らず、難病患者の相談にも応じ、ハローワークなどと連携し支援体制の強化を図る。

問 難病患者の理解と周知に
関しての考えは。
答 難病患者やその御家族が抱える社会的課題と身体的・精神的な困難さを広く市民に伝えることが重要であり、県と協力し、難病に係る情報や支援制度を、広報やホームページなどで広く周知するよう努める。

質の高い保育の提供

問 保育園・幼稚園の預かり保育事業への考えは。
答 子どもを預かる時間が短く、加えて幼稚園の園児数が減っていることもあり、引き続き保育園を増やしてい



くための検討が必要であると考える。

問 大藤こども園・向笠幼稚園の再築・統合は。
答 保護者との意見交換会を踏まえて、向陽学府小中一校の状況も念頭に置きながら方針を固める予定で、園舎の再築は、公共施設全体の在り方を協議する中で検討する。

問 関係自治会や保護者等との交通安全対策の進め方は。
答 地域の方々と対話し、スクールバスの要望や通学路の危険箇所の改修など、様々な意見を頂いている。周辺道路の混雑や駐車場不足などの課題があり、児童生徒の安全確保を第一に考え、敷地の拡大を検討している。

子育て支援で目指すものは／公教育としての「小中学校」の役割等について／これからの磐田市について



問
答

新磐田 芥川 栄 人 議員



子育て支援で目指すものは

問 子どものうちから市政に関わる仕掛けづくりは。

答 デジタル技術の活用や「子ども会議」を設置し、直接施策に対する意見を聞くことなどを考えている。

問 ことも誰でも通園制度の実施にあたり、保育士の声の反映方法は。

答 保育士確保が大きな課題と認識している。公立園だけでなく私立園とも対話し、実施可能な方法を考えていく。

公教育としての役割

問 教員の働き方改革の状況現場と教育委員会の認識は。

答 教員の時間外勤務時間は徐々に減少している。教員と対話を繰り返し、教員の負担感を減らし、やりがいを持って取り組めるようにしたい。

問 ラーテーションに対する考えと検討は。

答 保護者への丁寧な説明と、教員の負担が少ない形を考えていく必要がある。モデル学府での取組を考えており、結果を踏まえ今後につなげたい。



地域の安心・安全について／市民の健康について／幼稚園、保育園、こども園について



問
答

せいわ会 平田 直 巳 議員



地域の安心・安全

問 天竜川河口部堤防の国の耐震対策の検証状況と結果は。

答 5年度に実施したレベル2地震動に対する耐震性能調査の結果が国からまだ示されていないが、報告があった段階で必要な対応を考えていく。

問 海岸防潮堤整備の市の事業の進捗状況と課題は。

答 6年度末の進捗率は約61%を見込んでおり、順調に進んでいる。課題は、地元住民等の安全を確保しつつ、効率を高めしていくことである。

問 海岸防潮堤整備の県の事業の進捗状況と課題は。

答 県からは計画どおりに進捗しており、9年度中に完成できるよう予算確保に努めると聞いている。市として事業促進を引き続き要望していく。



市民の健康

問 带状疱疹ワクチン接種費用の助成についての見解は。

答 ワクチンの有効性に関する国の議論の動向を注視しつつ助成の在り方を考えていく。

問 幼児教育・保育推進計画により改善できた点とできていない点は。また、課題は。

答 公立園の統合民営化の推進やこども園化、公私立園の連携強化、幼児教育・保育の質の向上等が改善できた。改善できていない点は、再編計画が定まっていない園があること、課題は、園舎や設備の老朽化への対応、職員の労働環境の改善等である。

問 現在、公立園が21園、私立園が35園である。公立園の在り方についての見解は。

答 地域において公立園が果たすべき役割を勘案し、全ての園を民営化する考えはない。今後も公立園が適切に機能するよう正規職員は毎年一定程度確保していく予定である。

自治体職員の諸課題／教育と保育の諸課題／これからの高齢者への支援策



問
答

日本共産党磐田市議団 高梨 俊 弘 議員



自治体職員の諸課題

問 職員の適正配置や働きやすい職場づくり等の取組状況と効果、課題は。

答 職員の配置は時間外勤務実績等を踏まえて行い、増員した所属は時間外勤務が縮減している。国の給付金などの業務へは、即戦力の採用や働きがいを高める取組等で体制を強化し対応していきたい。

問 会計年度任用職員の給与、勤労手当、有給休暇等の処遇改善が必要である。見解は。

答 国の動向などを基本とし、民間企業の給与水準の状況等にも十分留意し、必要に応じて見直しを図っていきたい。

教育と保育の諸課題

問 教科書以外の補助教材費の無償化の考えは。

答 補助教材は、各学校で児童・生徒の実態や使用目的、経済的負担等を考慮し選択している。保護者に説明をして理解を求めている。現時点では、無償化は考えていない。

問 公立保育園での保育士配置基準の見直しと課題は。

答 公立園は、全園で新たな基準に対応できている。課題は保育士の確保であり、安定した園運営のため引き続き正規職員の採用に努めていく。

問 災害時自動安全確認システムの導入の見解は。

答 黄色いタオルの掲出に加え、デジタル技術を活用した安全確認の方法についても研究していく。

問 「私と家族のあんしんノート」の活用状況、市民からの意見や要望は。

答 ノートは、終活おうえん窓口相談や高齢者サロン等で約7500部配布している。市民から好意的な意見や簡易的なノートへの要望もあり、見直しを検討している。



公共施設等総合管理計画／国政と市政に関わる諸問題について



問
答

日本共産党磐田市議団 根津 康 広 議員



公共施設等総合管理計画

問 学校施設の更新計画の課題は。

答 更新時期が重なり、財政負担が大きくなることに加え、施設の老朽度や耐用年数、児童・生徒数の推移だけでなく、地域それぞれの実情により、更新の順番決めが困難な状況にあることである。

問 小学校跡地利用の方針は。

答 旧豊岡東小学校は、地域コミュニティ活動のための施設として活用し、一部を災害時避難場所として整備を進めている。向陽学府内の跡地利用の方針や進め方は、地域の方との対話を進める中で決めていきたい。

問 大藤こども園、向笠幼稚園の、統合・再築の課題は。

答 保護者を対象に意見交換会を行う予定である。向陽学府小中一体校の状況も念頭に置き、方針やスケジュールを検討していく。

問 交流センターの整理・統合等の基本方針と課題は。

答 基本方針やスケジュールは定めていない。総合管理計

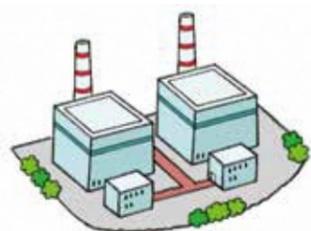
画に掲げられている基本方針に基づき進めていく。課題は、現状について市民に理解していただくことと認識している。

問 介護報酬が引き下げられたが、事業所の実態把握、市の支援策は。

答 6年4月からの訪問介護報酬引下げの影響は、今後表れてくるものと考えられる。現在の支援策で足りないところを精査し、国や県への要望も検討していく。

問 浜岡原発避難計画について、見直しする内容と時期は。

答 能登半島地震を踏まえ避難経路の見直しが必要と考えられる。県とは情報交換会等の機会を捉えて協議をしていく。



熱中症対策について／漏水対策について／災害時の水の確保について／
在住外国人の災害時の避難について／高齢者の生活支援について



問
答

せいわ会 加藤 公人 議員



災害時の水の確保

問 市内の小中学校や公共施設にある受水槽を災害時に活用する見解は。

答 既に受水槽のある全ての避難所で蛇口の設置は完了しており、災害時に活用可能となっている。今後は避難所運営会議等で周知していきたい。

問 市民に対して提供できる給水袋の備蓄数と提供方法は。

答 給水袋は、約1万4000枚備蓄している。災害時は指定避難所などの給水場所でポリタンク等を持参できない市民に対して配布する計画である。

在住外国人の災害時の避難

問 災害時に避難所ごとの外国人避難者数は現状把握できているか。

答 避難所ごとの避難者数は把握していないが、地区別の外国人居住人口から、外国人避難者が多いであろう避難所は想定している。

問 避難所運営マニュアルにおける外国人への対応策は。また、避難所でのコミュニ



市の諸課題について／教育の諸課題について



問
答

磐田の底力 柏木 健 議員



市の諸課題

問 旧市民文化会館跡地について、今期の市長の任期中の決断は。

答 現在、民間企業等からの提案を受け、類似事例の情報収集、水災害に対する検討、関係機関との情報交換など、調査・検討を進めているため、跡地活用の方向性の明示については、引き続き、時間をいただきたい。

問 一人暮らしが増える中で、自治会や地域活動に市民の積極的な入会や参加を求めているのか。

答 直面する高齢化等の社会課題を踏まえ、同じ地域で暮らす方が日常的に助け合うことの大切さを丁寧に説明するとともに、無理のない範囲で地域活動に参加できる取組を進めることで、地域活動の維持・継続を図っていきたい。

問 市街化調整区域の農地付き住宅の売却による農地法3条の弾力的な運用の考えは。

答 適切な農地の権利取得が図られるよう、法に照らして判断をし、引き続き、相談者



防災・減災について



一 括
質 問

公明党磐田 江塚 学 議員



問 フェーズフリーの考え方は非常に重要であり、能登半島地震の教訓から本市の様々な施策に取り入れていきたい。キャッチコピーとしての使い方も挑戦し、今後の学校づくりや公園づくりにも考え方を取り入れていきたい。

問 災害ケースマネジメントの取組と効果、包括的支援体制の枠組みの活用は。

答 4年の台風15号と5年の台風2号では、独自の取組として関係機関や専門職と連携したいわた安心つなげる隊による世帯訪問をした。災害ケースマネジメントは平時を含め発災直後からの継続的なマネジメント体制と捉え、その一部がいわた安心つなげる隊と捉えている。今後は連携体制の構築をさらに図っていく。

問 Starlink活用の考えは。

答 地上の通信インフラ破壊状態時には、通信衛星を利用した手段は有効と考えている。

問 FMラジオ活用の考えは。

答 デジタル機器の扱いが苦手な方もいるので、災害時の



情報発信手段としてラジオは有効であると考えている。

問 災害廃棄物処理計画に東松島方式を取り入れる考えは。

答 4年の台風15号と5年の台風2号の災害廃棄物処理は、県内のロールモデルとなっている。東松島方式は計画におおむね盛り込まれている。

問 避難時のトイレ問題解決に、災害時応援協定の考えは。

答 排便袋の備蓄を推進するなど、さらなる充足を図りたい。能登半島地震の被災地に循環式水洗トイレを無償提供した会社とは周辺の自治会が協力関係を築いているので、このトイレも提供は可能との回答をいただいている。

市の労働力確保について／「ネット社会の学校教育」と「子どもの権利」について



一 括
質 問

志政会 秋山 勝則 議員



労働力確保と支援

問 本市における雇用状況と企業からの声とその認識は。

答 人手不足が解消されないといった声が多く、人材確保が課題であると認識している。

問 今後の企業支援策の方向性は。

答 積極的に雇用マッチングの場を提供し、新たに市内外の高校を対象に高校生インターシップ等、市内企業の認知度向上を図る取組を進める。

問 労働力確保を連携して図る上で企業に求めるものは。

答 県西部の高校や中京圏を含めた大学等と連携を深め、雇用マッチングの場へ積極的に参加することや、DX推進による働き方改革、社員の育成や支援等、働く環境を向上させる取組を進めてほしい。

「ネット社会の学校教育」と「子どもの権利」

問 ネット社会における一体となった子どもの環境づくりの今後の方向性と課題は。

答 スマートフォン等の普及で児童生徒が事件に巻き込ま



れる危険が広がっている。このため、学校での取組、家族や地域との協力が不可欠である。学校運営協議会での取組を学校にも紹介していきたい。

問 学校制服の在り方の検討と今後の方向性は。

答 5年度に制服の在り方検討会を立ち上げ、検討をしてきた。6年度からは、検討会の報告を受け、磐田地区制服選定委員会で検討していく。早くも8年度からの導入を目指し、各校が生徒や保護者と合意形成を図りながら、最終的に判断していく。

問 学校健診における着衣の状況と今後の方針は。

答 医師会と協議・連携を行ったうえで、原則、着衣としている。

に寄り添いながら、提案型で対応するよう努める。

教育の諸課題

問 英語教育における地域や公私立の格差の認識は。

答 小学校の英語教育に関して、児童の英語力を数値で客観的に比較できるものがないため、把握はできていない。

問 市内小中学校の修学旅行に東日本大震災の伝承施設を組み入れる考えは。

答 防災意識の向上等の観点から大変価値のあることだと考える。修学旅行先は、教育目標や目指す子どもの姿などを踏まえ、子どもや保護者の考えを聞きながら、各校で決めていくため、提案として受け止めていただきたい。

4/12 公共施設等マネジメントに関する提言書を市長へ提出

本市議会では、公共施設等の適切なマネジメントについて、今後の社会環境や市民ニーズの変化を踏まえた市民目線からの提言を行うとともに市民相互の共通認識を深めるため、4年3月に公共施設等マネジメント検討特別委員会を設置し、執行部から説明を受けるなど、調査・研究を行ってきました。

その結果、公共施設等マネジメントに関する提言を取りまとめ、市長に提出しました。



4/30 総務委員会所管事務調査

総務委員会は、防災・減災に対する課題や対応状況について確認・理解するため、「大規模災害時の災害緊急受援体制」について、本市危機戦略監から説明を受けました。

説明を受けた後、防災・減災のために必要な取組について活発な意見交換が行われました。



6/3 民生教育委員会視察

民生教育委員会は、障がい者の就業に対する支援について調査するため、GrandFarm株式会社とヤマハモーターMIRAI株式会社を視察しました。視察先では、障がい者の就業の現状と課題等について説明を受け、質疑応答や意見交換を行いました。



4/16 総務委員会講演会開催

総務委員会は防災・減災について調査・研究するため、講演会を開催しました。

静岡大学防災総合センターの岩田孝仁特任教授を講師に、「大規模災害への対応～想像力の欠如に陥らない～」をテーマとして、大規模災害への対応について講演いただきました。

講演により、さらなる防災・減災への取組に対する理解を深めました。



5/7 ダイバーシティの推進に関する提言書を市長へ提出

本市議会では、多様性が受容されるダイバーシティ社会の構築が必要と考え、総務委員会の5年度所管事務調査において、ダイバーシティの推進に関する調査研究・協議を行ってきました。

その結果、ダイバーシティの推進に関する提言を取りまとめ、市長に提出しました。



発達に特性がある子どもと親への支援の充実について
児童生徒の安全安心を守る体制の強化について



問
答



市民と創る磐田 鈴木弥栄子議員

子どもと親への支援の充実

問 児童発達支援事業所につながるまでの改善策は。

答 相談後から利用申請まで約6か月から8か月かかり、課題と認識している。他市の事例を参考に関係機関と改善策を協議検討し、6年度中に一つでも解決策を提示できるようにしていきたい。

問 発達サポートガイドの親の使いやすさの検証は。

答 使いやすさより必要な情報を分かりやすく提供できるように、今後は保護者等から意見を聞き、改善していきたい。

問 インクルーシブな公園にしていくための啓発は。

答 ホームページや広報で啓発しているが、今後は子育て情報誌や発達サポートガイド等へも掲載し、啓発に努めていく。看板での啓発も可能なことがあれば進めていきたい。

問 市内教職員の不祥事の現状と再発防止の取組は。

答 5年度の懲戒処分は1件報告されている。再発防止策

として、不祥事案を自分ごととして捉える研修会を、各学校が機会を見て行っている。

問 セクシユアル・ハラスメントに係る調査の本市の状況と対策は。

答 4年度は17件、5年度は12件の報告があった。対策は、教員に事実を確認した後、指導を行い、児童生徒と保護者に確認できた事実とおわびを伝え、今後の指導の在り方等に理解をいただいている。

問 教職員の不祥事防止に対する教育長の考えは。

答 信頼関係を一気に崩し、子どもたちの心に深い傷を残すことになる不祥事は、決してあってはならないと認識している。今後も不祥事根絶に向けた取組を継続していく。



一般質問
用語解説



※1 こども誰でも通園制度(P11)

保育所などの利用要件を緩和し、親が就労していなくても時間単位などで子どもを預けられるようにする新たな通園制度です。

※2 ラーケーション(P11)

「ラーニング(learning:学習)」と「バケーション(vacation:休暇)」を組み合わせた造語で、学びを目的として休暇を楽しむことを指します。

※3 スクラップ・アンド・ビルド(P11)

非効率な行政機構を廃止して、新しいものにおきかえることによって、集中化、効率化などを実現することをいいます。

※4 フェーズフリー(P12)

身のまわりにあるモノやサービスを、日常時はもちろん、非常時にも役立つようにデザインしようという考え方です。

※5 Starlink(P12)

アメリカに本社を構える航空宇宙メーカー「スペースX」が運用する低軌道衛星を介して、エリア・環境に左右されない高速でのインターネット通信を可能にするものです。

※6 インクルーシブな公園(P14)

障がいのある無や国籍などに関わらず、あらゆる子どもたちが一緒に遊べる環境がある公園のことです。

審議結果

■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 磐田市外 1 組合公平委員会の委員選任の同意
- (2) 6 年度一般会計補正予算（第 4 号）
- (3) 個人番号の利用に関する条例の一部改正
- (4) 市税条例の一部改正
- (5) 協働のまちづくり推進条例の一部改正
- (6) 土地開発公社の解散
- (7) 5 年度向陽学府小中一体校建設工事（建築）請負契約の締結
- (8) 5 年度向陽学府小中一体校建設工事（電気設備）請負契約の締結
- (9) 5 年度向陽学府小中一体校建設工事（給排水衛生設備）請負契約の締結
- (10)～(12) 財産の取得
- (13) 市道の路線変更
- (14) 6 年度一般会計補正予算（第 5 号）
- (15) 財産の取得
- (16) 6 年度向陽学府小中一体校建設工事（空調設備）請負契約の締結
- (17) 6 年度一般会計補正予算（第 6 号）
- (18) 人権擁護委員の候補者推薦
- (19) 刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書
- (20) パレスチナ自治区ガザ地区での即時停戦を求める意見書

■全会一致により採択となった請願

- (1) パレスチナでの即時停戦を求める意見書の採択についての請願

■本会議で行われた選挙

- (1) 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

■その他

- (1) 市議会議員の派遣

9 月定例会の予定

（9月9日～10月15日）

日	月	火	水	木	金	土
9/8	9	10	11	12	13	14
	本会議 (議案上程)					
15	16	17	18	19	20	21
			本会議 (一般質問)			
22	23	24	25	26	27	28
		本会議 (議案質疑)		予算決算委員会分科会(審査) 常任委員会(審査)		
29	30	10/1	2	3	4	5
	予算決算委員会分科会(審査) 常任委員会(審査)					
6	7	8	9	10	11	12
	予算決算委員会 (採決)					
13	14	15	16	17	18	19
		本会議 (採決)				

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。一般質問を行う議員の順番や内容につきまして9月17日(火)にホームページ上で公開を予定しております。また、聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の手配等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局(電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845)までお問い合わせください。

表紙の写真

静岡県立磐田南高等学校 2年生
ビジュアル部 ^{あつみ} 渥美 ^{るな} 瑠那 さん

この写真は部活で遠征に行った時に撮影したものです。この日はまさに「あいの風」が吹く心地の良い日でした。

大好きな先輩、友達が川で存分に遊んだ後、日陰で涼んでいるところを撮影しました。これからもこんな些細な「あい」に満ち溢れた日常を送れるように1日1日を大切に過ごしていきたいです。



去る7月17日(水)豊岡南小学校6年生52人が市議会を訪れました。最初は緊張していた子どもたちも、時間とともに雰囲気慣れ、クラス毎に分かれた意見交換では、大人顔負けの鋭い質問が飛び交うなど、活気に溢れた議場見学となりました。政治や行政を身近に感じる子どもたちが一人でも増えるよう、今後も様々な機会提供に努力したいと思います。

(松野正比呂)

次回は12月1日発行予定です。

【広報広聴委員会】

- 委員長：永田隆幸
- 副委員長：加藤公人
- 委員：山下千賀子、江塚学、小柳貴臣、松野正比呂、高梨俊弘